

# 三光図書館だより



～年末年始休館のお知らせ～

12月29日(土)～1月4日(金)

今年も一年三光図書館をご利用いただきありがとうございました。  
迎える新しい年もどうぞよろしくお願いたします。

**年末年始大忙し！！**



市民の本棚

中津市立図書館

－ 年末年始お役立ち本をご紹介します！ －

- 『世界一のお掃除術』 ミニマル+BLOCKBUSTER/彩図社
- 『すっきり暮らすための掃除・片づけのコツ』主婦の友社
- 『読むだけで「うまい」と言われる字が書ける本』

根本 知/阪急コミュニケーションズ

- 『書家の年賀状』芸術新聞社編
- 『和紙絵の年賀状』 田中 ゆみ/日貿出版社
- 『季節を楽しむおもてなしの食卓』 野崎 洋光/KADOKAWA
- 『12月31日でも間に合う簡単おせち』 星野 奈々子/学研
- 『冷凍・冷蔵ワザで詰めるだけ！らくらくおせち作り』

岩崎 啓子/ルックナウ

- 『たった1日で完成！作りおきおせちの本』 榎出版
- 『後藤加寿子のおせち料理』 後藤 加寿子/文化出版局



**無断持ち出しを無くそう！**

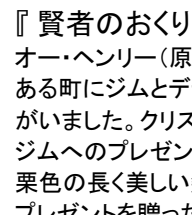
図書館資料は、必ず  
貸出をしてください。

12月 2018						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24 31	25	26	27	28	29

## クリスマスの絵本



『あいたくてあいたくて』  
みやにしたつや/女子パウロ会  
きらわれもののおかみがブタを追いかけて  
いる時足元から「ふまないで」と声がきこ  
えました。そこには一匹の毛虫。独りぼっち  
だった二人は大の仲良しになります。あ  
る日毛虫がいなくなってしまう...



『賢者のおくりもの』金の星社  
オー・ヘンリー(原)いもとようこ(文絵)  
ある町にジムとデラという若くて貧しい夫婦  
がいました。クリスマスの前日、妻のデラは  
ジムへのプレゼントを買うために自慢だった  
栗色の長く美しい髪を売ります。さてどんな  
プレゼントを贈ったのでしょうか？



『100にんのサンタクロース』  
谷口 友則/文渓堂  
ここは100にんのサンタクロースが住む町  
春からクリスマスの前の日まで100にん  
みんなで力を合わせてクリスマスの準備を  
します。そしてみんなにクリスマスプレゼン  
トを配り終わったあとには...

12月3日～7日までの間は、

資料総点検のため休館です。

また年内の開館は28日(金)までです。

気を付けてお越しください。開館時間は

10:00～18:00です(■は休館日です。)



# 思わず涙・・・感動小説



『悼む人』  
五木 寛之  
文藝春秋

直木賞を受賞した作品。日本各地で不慮の死を遂げた人の最後の場所を訪れ、故人を“悼む”という旅をしている男・坂築静人(さかつきしずと)。この不可思議な行為をしている彼を軸に、彼に関わる周囲の人々の生と死のドラマを見つめる。



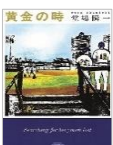
『ゴースト』  
中島 京子  
朝日新聞出版

少女、ミシン、廃墟・・・人だけではなくいろんなゴーストが出てくる連作集。独特なユーモアでじんわりと読み手のツボを押してくれます。“あの時代”の何かを伝えたくてゴーストとして出てくる人や物。読み終わった後、思わずふわっと涙があふれます。



『拳の先』  
角田 光代  
文藝春秋

ボクシング専門誌から文芸編集者となった空也(くうや)は、ふとしたきっかけで距離を置いていたボクシングに近づき、またボクシングの面白さに魅せられていく。ボクシングを見る側視点で書かれた作品。空也からみた“拳の先”とは？



『黄金の時』  
堂場 瞬一  
文藝春秋

音信不通だった父・総一郎が亡くなり、遺品を整理している時、一枚の写真を見つけた息子・要。それはアメリカで野球をしている若き日の父の姿だった。野球嫌いだった父がなぜ！？野球を通して本当の気持ちを知る不器用な父と子の物語。



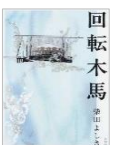
『森に願いを』  
乾 ルカ  
実業之日本社

死に場所を探しにこの森に入った一。いじめ、就職、恋愛、不治の病。さまざま思いを抱えた人々が森に迷い込む。迷い込んだ人々に森は何を感じ、何を伝えるのか。この森は青木ヶ原樹海のような森ではなく、穏やかで心地よい森みたい。



『希望ヶ丘の人びと』  
重松 清  
小学館

亡き妻が昔暮らした街に、小学生の息子と中学生の娘を連れて帰った田島。妻が好きだった街“希望ヶ丘”は、子供達も田島も名前の通り、夢に描いた希望の街になるだろうと思っていたが。家族にふりかかる試練。どう立ち向かい何を心得る？



『回転木馬』  
柴田 よしき  
祥伝社

孤独と葛藤、成長と再生。十年前に失踪した夫の代わりに探偵家業を継いだ唯は、夫の居場所を探し続ける。そんななか出会う、心に傷を抱えた女性たち。幾度の衝撃的な事実遭遇しても、少しの希望を持って突き進む姿に感動します。



『きらきら眼鏡』  
森沢 明夫  
角川書店

切なくも優しい恋愛小説。男の人が目と鼻を真っ赤にしながらか夢中になって読むくらいストーリーがしっかりと作りこまれています。恋愛、死、〇〇角関係は物語の要素としては王道ですが、だからこそ最後の1ページまで飽きずに読めます。



『あらしのよるに』  
きむら ゆういち  
小学館

狼のガブとやぎのメイ。ふたりはある出会いから友達になりますが、狼とやぎの友情はいつまでも続くのか！？もともとは絵本だった作品が小説版として登場！ぜひ大人にも読んでもらいたい！絵本にはない本当のラストが書かれています。

## つぶやき

### 【代表】小幡記念図書館

〒871-0056 中津市1366番地1(片端町)

Tel 0979-22-0679 Fax 0979-24-3516

●《三光図書館》Tel0979-43-2032 (三光公民館内)

●《本耶馬溪図書館》Tel0979-52-3033  
(本耶馬溪公民館内)

●《耶馬溪図書館》Tel0979-54-3111  
(耶馬溪公民館内)

●《山国図書館》Tel0979-62-2141

◇メールアドレス: tosyokan@city.nakatsu.lg.jp

◇ホームページ: <http://libwebsv.city-nakatsu.jp/>

12月といえば、クリスマス。イエスキリストが誕生しなすった日ですね！この時期のカトリック系幼稚園では、キリストの誕生劇をします。私もはるか昔幼稚園児だったとき毎年参加してました。仏教徒なのにキリストの誕生を祝う・・・なんかねじってれますよね。正直、幼稚園のおかげで釈迦よりもキリストの方が詳しいです。